

平成28年度第8回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 28 年 12 月 19 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	葛西 俊弘
研究名	スクールトレーナー活動が高校野球選手に及ぼす影響
研究内容 要旨	高校野球では一般的に外傷よりも肩肘や腰部のスポーツ障害の発生率が高いことが知られている。これらを早期発見・対処することにより症状増悪の予防につながると考えられている。 そこで今回一年間、定期的にスクールトレーナー活動を行っている高校野球選手を介入・評価し、スクールトレーナー活動がスポーツ障害の有無、身体機能、障害予防に対する野球選手の意識に与える影響を調査したい。
審議結果	差し戻し
意見	「研究の概念」の文章を分かりやすいものに改める。 研究の内容が、既にスクールトレーナー活動で得られたデータの解析(後追い研究)であるので、そのことが分かるように研究計画書、説明書の記載(研究開始時期、終了時期も含めて)を改める。
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	島崎 博也
研究名	短期大学若年者と病院利用高齢者の入浴習慣の違いについて
研究内容 要旨	人が入浴を行う目的として、清潔の保持、リラックス感を得るため、身体を温めるなどの理由がある。また、入浴スタイルも浴槽に浸かっての入浴が主であったが、近年はシャワー浴のみの方も多。 今回、入浴目的が年齢により違いがあるのかのいうことを、愛知県にある短期大学の若年者と小山田記念温泉病院を利用している高齢者を対象として調査し、入浴が健康や活動にどのような影響を及ぼしているのかを検証することを本研究の目的とする。 また、高齢者の入浴事故は現在も後を絶たず、予防が必要であるとされ、入浴は生活習慣の一部であり、適切な入浴指導が大切であるとされています。本研究において、入浴習慣についてアンケートを実施検証することにより、高齢者がより安全に入浴が行える資料とする為、本研究を実施する。
審議結果	承認
意見	特になし。
参考	本研究は他の研究機関と共同して実施される研究であり、すでに共同研究機関である愛知医療学院短期大学において研究倫理専門委員会の審査を受け、実施について適当である旨の意見を得ている。

新規研究計画の審議

申請者	富井 敬太
研究名	FES介入前後における平地歩行に与える影響について～関節角度に着目して
研究内容 要旨	脳卒中治療ガイドライン2015において脳卒中片麻痺患者に機能的電気刺激 (Functional Electrical Stimulation:以下FES)を加えることは足関節背屈力や歩行改善に効果があるとされており、推奨グレードBともされている。しかし、FESによる歩行への即時効果を示した研究報告は少ない。 本研究の目的は、回復期脳卒中片麻痺患者がFES使用した場合の前後で歩行機能に与える効果を検証し、今後の片麻痺患者の歩行練習に対する治療効果を有益なものにすることである。
審議結果	条件付承認
意見	試料・情報の保管及び廃棄方法について、保管する期間と、連結可能匿名化または連結不可匿名化を行うかどうかを、計画書、説明書に記載する。
参考	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。